



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年9月26日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 吉本 清志 (TEL) 03(5962)1119
四半期報告書提出予定日 平成24年9月27日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績（平成24年2月16日～平成24年8月15日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	45,197	13.1	300	—	377	—	91	—
24年2月期第2四半期	39,963	△2.0	△132	—	△96	—	△252	—

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 166百万円 (—%) 24年2月期第2四半期 △432百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	1.65	—
24年2月期第2四半期	△4.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第2四半期	50,502	24,602	48.7	440.61
24年2月期	54,344	24,883	45.8	445.62

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 24,602百万円 24年2月期 24,883百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.0	—	8.0	8.0
25年2月期	—	0.0	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	8.0	8.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年2月16日～平成25年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	6.3	1,600	31.6	1,700	28.2	940	55.6	16.83

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 平成25年2月期は決算期変更の経過期間となることから、通期については12.5ヶ月（平成24年2月16日～平成25年2月28日）の予想数値を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期2Q	59,948,294株	24年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	4,111,860株	24年2月期	4,108,553株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期2Q	55,837,936株	24年2月期2Q	55,842,977株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の成果や業績は記載の予想と異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、【添付資料】P. 4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況	12
(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注および売上高の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	39,963	45,197	5,233	13.1
営業利益又は営業損失(△)	△132	300	433	—
経常利益又は経常損失(△)	△96	377	474	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△252	91	344	—

当第2四半期連結累計期間（平成24年2月16日～平成24年8月15日）におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に一部で持ち直しの動きが見られたものの、電力供給問題や円高の長期化、海外経済の先行きへの懸念など、予断を許さない状況が続きました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、顧客企業における設備や広告宣伝への投資に一部明るい兆しが見られますが、景気の減速懸念を背景に引き続き先行き不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、市場の変化への対応力を強化するなど、経営目標である「選ばれるノムラ」の実現に向け事業活動を展開した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は451億97百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

また、利益面におきましては、投資有価証券評価損を計上するなどいたしましたが、売上高の増加にともない、営業利益3億円（前年同期は営業損失1億32百万円）、経常利益3億77百万円（前年同期は経常損失96百万円）、四半期純利益91百万円（前年同期は四半期純損失2億52百万円）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

商業施設分野では、都内に相次ぎ開業した大型商業施設のほか、新たに開通した高速道路のサービスエリアの環境演出を手掛けるとともに、これらの施設にオープンしたアパレル関連やスポーツブランドなどの店舗内装を数多く手掛けてまいりました。また、広報・販売促進市場分野では、エネルギーや住宅関連企業のショールームの新設、改装を多数手掛けてまいりました。この他、前年同期には大型文化施設の売上を計上した博物館・美術館市場分野では、指定管理者制度^(注)にもとづく施設運営を含め、今年度より運営管理先が3箇所増加するなど、管理・運営業務は着実に増加しております。

この結果、ディスプレイ事業の売上高は443億28百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は2億54百万円（前年同期は営業損失1億84百万円）となりました。

（単位：百万円）

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	国内外のアパレル関連やインポートブランド、金融機関の店舗内装制作等	15,298	19,485	4,187	27.4
百貨店・量販店市場	中部圏や地方都市における百貨店のリニューアル等	3,240	2,322	△917	△28.3
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	都内に開業した大型商業施設や空港内の商業施設、高速道路のサービスエリアにおける空間演出等	3,245	4,002	757	23.3
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	エネルギーや住宅関連企業のショールームの新装・改装、大手電機メーカーの展示ブースの制作等	6,279	6,703	423	6.7
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	「原鉄道模型博物館」(神奈川県)や「高志の国文学館」(富山県)の展示制作、指定管理者制度にもとづく施設の管理・運営等	6,042	4,502	△1,539	△25.5
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテインメント施設、動物園、水族館等)	温浴施設やホテルの内装、水族館やアミューズメント施設の展示演出等	2,058	2,910	851	41.4
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や民間企業が主催するイベント等	113	415	302	266.7
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、プライダル施設、サイン、モニュメント等)	オフィスの環境演出やサイン工事、大型モニュメントの制作等	2,842	3,985	1,143	40.2
ディスプレイ事業		39,120	44,328	5,207	13.3

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度。平成15年9月より施行されている。

②不動産事業

所有する不動産における賃料収入などにより、売上高は2億28百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は65百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

（単位：百万円）

概 要	売 上 高		増減額	増減率 (%)
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間		
所有する不動産における賃料収入等	237	228	△8	△3.4

③飲食・物販事業

本年5月、商業施設「東京ソラマチ」に東京下町雑貨「がっちゃんら屋」（東京都墨田区）を新規開業したほか、「江戸東京博物館ミュージアムショップ」（東京都墨田区）などの既存飲食・物販店の運営を手掛け、売上高は6億39百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は26百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

（単位：百万円）

概 要	売 上 高		増減額	増減率 (%)
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間		
ミュージアムショップや商業施設における飲食店・物販店の 運営業務等	605	639	34	5.6

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、505億2百万円（前連結会計年度末比38億41百万円減）、負債は259億円（前連結会計年度末比35億60百万円減）、純資産は246億2百万円（前連結会計年度末比2億80百万円減）となりました。

総資産は債権の回収等により現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金が大幅に減少いたしました。

負債は仕入れの減少にともない支払手形及び買掛金が大幅に減少いたしました。

純資産は四半期純利益を計上しましたが配当金の支払いにより、利益剰余金が減少しております。

この結果、自己資本比率は売掛債権の大幅減少にとまう総資産の減少により、前連結会計年度末の45.8%から48.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて64億76百万円増加し、期間末残高は68億87百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因につきましては、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務が減少したものの、四半期純利益の計上と債権回収が大幅に進んだことなどにより62億75百万円の収入となりました。前年同期との比較でも、債権回収などにより収入が44億80百万円増加しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産や投資有価証券の取得などによる支出がありましたが、信託受益権の償還収入などにより1億25百万円の収入となりました。前年同期との比較では、前年同期は長期預り保証金の返還や有形固定資産の取得などにより支出でしたが、信託受益権の償還により収入に転じました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどがあつたものの手許資金充実を目的とした短期借入を実行したため72百万円の収入となりました。前年同期との比較では、配当金を期末配当のみに変更したことにより支払額は増えたものの、短期借入の実行により収入に転じております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月28日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	411	6,887
受取手形及び売掛金	20,850	12,199
有価証券	26	58
たな卸資産	8,277	7,323
繰延税金資産	860	844
その他	1,033	558
貸倒引当金	△62	△36
流動資産合計	31,398	27,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,480	12,504
土地	10,078	10,078
その他	1,639	1,654
減価償却累計額	△6,155	△6,388
有形固定資産合計	18,042	17,849
無形固定資産	505	483
投資その他の資産		
投資有価証券	2,050	2,173
その他	2,785	2,486
貸倒引当金	△438	△326
投資その他の資産合計	4,398	4,333
固定資産合計	22,946	22,666
資産合計	54,344	50,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月15日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月15日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,977	12,406
短期借入金	1,224	1,799
未払法人税等	491	181
前受金	2,377	2,313
賞与引当金	934	736
工事損失引当金	350	306
環境対策引当金	100	100
その他の引当金	74	75
その他	2,070	2,086
流動負債合計	23,601	20,005
固定負債		
退職給付引当金	4,322	4,301
その他の引当金	180	186
その他	1,356	1,408
固定負債合計	5,860	5,895
負債合計	29,461	25,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	12,438	12,083
自己株式	△913	△913
株主資本合計	24,884	24,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△267	△191
土地再評価差額金	287	287
為替換算調整勘定	△22	△23
その他の包括利益累計額合計	△1	73
純資産合計	24,883	24,602
負債純資産合計	54,344	50,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)
売上高	39,963	45,197
売上原価	34,858	39,667
売上総利益	5,105	5,529
販売費及び一般管理費	5,237	5,228
営業利益又は営業損失 (△)	△132	300
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	11	11
仕入割引	34	42
その他	31	32
営業外収益合計	82	90
営業外費用		
支払利息	2	6
為替差損	9	2
複合金融商品評価損	11	0
投資不動産管理費用	3	3
賃貸費用	19	—
その他	0	0
営業外費用合計	47	12
経常利益又は経常損失 (△)	△96	377
特別利益		
固定資産売却益	1	0
貸倒引当金戻入額	23	—
新株予約権戻入益	61	—
受取保険金	228	—
ゴルフ会員権償還益	1	—
特別利益合計	317	0
特別損失		
固定資産除売却損	6	3
投資有価証券評価損	—	82
ゴルフ会員権評価損	4	1
役員退職慰労金	135	—
社葬費用	61	—
過年度給料手当	163	—
店舗閉鎖損失	6	—
災害による損失	73	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	14	—
特別損失合計	465	86
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△244	291
法人税等	8	199
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△252	91

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△252	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△183	75
為替換算調整勘定	3	△1
その他の包括利益合計	△180	74
四半期包括利益	△432	166
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△432	166

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△244	291
減価償却費	391	400
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	△198
退職給付引当金の増減額(△は減少)	128	139
受取利息及び受取配当金	△17	△15
支払利息	2	6
受取保険金	△228	—
役員退職慰労金	135	—
社葬費用	61	—
災害損失	73	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,261	8,747
たな卸資産の増減額(△は増加)	84	954
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,107	△3,570
前受金の増減額(△は減少)	△440	△65
その他	447	62
小計	2,542	6,752
利息及び配当金の受取額	18	15
利息の支払額	△2	△6
保険金の受取額	228	—
役員退職慰労金の支払額	△135	—
社葬費用の支払額	△61	—
災害損失の支払額	△58	—
法人税等の支払額	△736	△485
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,795	6,275
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△78	△49
有形固定資産の売却による収入	0	0
投資有価証券の取得による支出	△51	△116
投資有価証券の売却による収入	2	0
信託受益権の償還による収入	—	299
長期預り保証金の返還による支出	△159	—
その他	37	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△248	125
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	39	569
配当金の支払額	△213	△435
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△41	△60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216	72
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,328	6,476
現金及び現金同等物の期首残高	995	411
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,324	6,887

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年2月16日 至 平成23年8月15日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	39,120	237	605	39,963	—	39,963
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	3	11	23	△23	—
計	39,128	241	617	39,987	△23	39,963
セグメント利益又は 損失 (△)	△184	79	21	△83	△49	△132

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△49百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整をおこなっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	ディスプレイ 事業	不動産 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	44,328	228	639	45,197	—	45,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21	3	11	37	△37	—
計	44,349	232	651	45,234	△37	45,197
セグメント利益	254	65	26	345	△44	300

(注) 1. セグメント利益の調整額△44百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) セグメント別（ディスプレイ事業は市場分野別）の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	15,217	18,864
百貨店・量販店市場	3,088	2,523
複合商業施設市場	3,596	3,290
広報・販売促進市場	6,499	7,553
博物館・美術館市場	4,510	3,552
余暇施設市場	2,136	2,850
博覧会・イベント市場	226	358
その他市場	3,134	3,942
ディスプレイ事業 小計	38,409	42,934
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	38,409	42,934

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 生産高の金額は販売価格によっております。

3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年8月15日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	16,588	6,036	19,477	7,670
百貨店・量販店市場	3,168	755	3,308	1,725
複合商業施設市場	3,239	5,247	3,716	3,150
広報・販売促進市場	6,537	3,593	8,998	5,834
博物館・美術館市場	3,982	4,341	3,919	3,072
余暇施設市場	2,536	1,517	4,391	3,472
博覧会・イベント市場	237	270	496	455
その他市場	3,431	2,676	4,536	5,381
ディスプレイ事業 小計	39,720	24,438	48,845	30,762
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	39,720	24,438	48,845	30,762

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	15,298	19,485
百貨店・量販店市場	3,240	2,322
複合商業施設市場	3,245	4,002
広報・販売促進市場	6,279	6,703
博物館・美術館市場	6,042	4,502
余暇施設市場	2,058	2,910
博覧会・イベント市場	113	415
その他市場	2,842	3,985
ディスプレイ事業 小計	39,120	44,328
(不動産事業)	237	228
(飲食・物販事業)	605	639
合計	39,963	45,197

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別（ディスプレイ事業は制作品別）の生産高、受注および売上高の状況

① 生産高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月16日 至 平成23年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月16日 至 平成24年8月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	13,510	14,181
展示制作	10,570	10,025
環境演出制作	1,657	2,746
販促品制作	604	764
企画・設計・監理	2,965	4,572
その他	9,101	10,644
ディスプレイ事業 小計	38,409	42,934
(不動産事業)	—	—
(飲食・物販事業)	—	—
合計	38,409	42,934

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 生産高の金額は販売価格によっております。
3 不動産事業と飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

② 期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月16日 至平成23年8月15日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	14,422	8,174	17,520	11,745
展示制作	8,760	5,476	10,909	7,426
環境演出制作	1,686	1,323	1,652	1,223
販促品制作	546	108	1,114	515
企画・設計・監理	4,160	3,903	6,052	5,850
その他	10,144	5,451	11,596	4,000
ディスプレイ事業 小計	39,720	24,438	48,845	30,762
(不動産事業)	—	—	—	—
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	39,720	24,438	48,845	30,762

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 不動産事業と飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③ 売上高の状況

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年2月16日 至平成23年8月15日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月16日 至平成24年8月15日)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	12,847	14,069
展示制作	11,529	9,569
環境演出制作	1,723	3,114
販促品制作	587	658
企画・設計・監理	2,584	4,727
その他	9,847	12,188
ディスプレイ事業 小計	39,120	44,328
(不動産事業)	237	228
(飲食・物販事業)	605	639
合計	39,963	45,197

(注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。